

第3学年1組 道徳科学習指導案

すすんでみんなのためにはたらく

「ごみステーションC(13) 勤労, 公共の精神」

指導者 河村由紀恵

保田 典子

ねらい 自分たちの住む海田町の「人・もの・場所」について学ぶことで、働くことの大切さを知り、海田町をよりよくするために、自分にできることを考え、進んでみんなのために働く態度を養う。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

| | |
|----------------|---|
| 【意欲・態度】 | ・自分たちが住んでいる海田町の「人・もの・場所」について関心をもち、海田町のよさを感じ、海田町をよりよくするために行動することの意義や自分にできることを考え、進んで実践しようと努力している。 |
| 【スキル】 | ・自分たちが住む海田町を知り、海田町をよりよくするために自分ができていることを考えている。 |
| 【自己理解】 | ・自分の生活を振り返り、自分たちが住む海田町のよさに気づき、郷土を大切に思い、自分にできることをしていこうとする自分の成長に気付いている。 |

学習の過程

| 児童の意識の流れ | 各教科・領域と道徳科との関連 | 時期 |
|--|---|-----|
| 友達や学級のために自分がやりたい仕事を頑張ってやっていきたいな。 | 学級活動「係を決めよう」 【学級活動における道徳教育の視点】 これからの学校生活で、友達と互いを思いやり、気持ちよく過ごしていくことの大切さに気づき、相手のことを考えて行動していこうとする心情を育てる。 | 4月 |
| 海田町にはいろいろなものや場所があるな。自分は周りの人に支えられているのだな。 | 社会科「わたしたちのまちのようす」 【社会科における道徳教育の視点】 海田町には、どのような場所やものがあるのかを知り、そこで関わったり支えてくれたりする人に気付く。 | 5月 |
| 自分もみんなのためにできることはないかな。 | 総合的な学習の時間「ふしぎ発見！海田町」 【総合の時間における道徳教育の視点】 「海田市ガイドの会」の方と関わる中で、地域の魅力や人々の努力などに気付く。 | 6月 |
| 気持ちがあたたかくなるな。自分もそんなふうに行動していきたい。もっとやってみよう。 | 道徳科「ごみステーション」C(13) 勤労, 公共の精神 ごみステーションを片付けているおじいさんと自分を対比させ、「わたし」の内面を考えさせることを通して、みんなのために働くことの大切さに気づき、自分にできることを考え、進んでみんなのために働こうとする態度を養う。【本時】 | 7月 |
| 「自分だったら」と相手のためになることを考え、行動していきたい。 | あいさつ運動 【体験活動における道徳教育の視点】 身近な人々とのあいさつの体験を通して、時と場に応じて、真心がこもった気持ちのよい対応をしようとする態度を養う。 | 9月 |
| 地域には支えてくれている人々がたくさんいるな。みんながよりよくいられるように、自分ができていることを考え実行したい。 | 学級活動「夏休みの過ごし方を考えよう」 【学級活動における道徳教育の視点】 夏休みの計画を立て、過ごし方や自分にできる仕事を考える。 | 10月 |
| | 道徳科「ことぶき園に行ったらよ」C(13) 勤労, 公共の精神 「ことぶき園」で働くお母さんの姿を見て、帰るときの「わたし」の気持ちを考えることを通して、働くことの大切さを知り、進んで人のために働こうとする心情を育てる。 | |
| | 総合的な学習の時間「ふしぎ発見！海田町～人・もの・場所～」 【総合的な学習の時間における道徳教育の視点】 海田東小学校校区の「たから」について追求し、保護者や地域の方に校区のガイドツアーをする。 | |

海田町の人たちがよりよく生活するために自分ができていることを考えて、自分から進んでみんなのためにできることをしよう